

『黄金分割』から見た株価の見方 (第 16 回)

kuwayama

2005 年 8 月 22 日

2 年前の最安値 7,603 円 (2003/4/28) からの「黄金分割」が 12,300 円で完成した (7,603 円、9,200 円、10,000 円、10,800 円、12,300 円)。長らくセミナーや講演会で話していた「黄金分割」の見方が的中した。昨年 4 月の 12,195 円でほぼ達成したかに見えたが、「景気は踊り場を抜けた」という今回の日銀の発表と「解散」が契機となり、「外人買い」の拡大で一気に 12,195 円を抜き、12,300 円を達成した。「黄金分割」の第一ラウンドは完成した。第二ラウンドの第一波動は 14,900 円である。半年から 1 年先をターゲットにしてこれからの見方を「黄金分割」で見てゆきたい。当面昨年安値 10,500 円、12,700 円、13,800 円、14,900 円と見ている。(もし 12,300 円が最高値ならば 10,800 円が押し目の限界、今回の相場のスタートラインである。) 9/11 の投票日までは、今の外人買いを中心にした強い相場展開が続くと思われるが、「原油」や NY の動向如何でスピード調整があるかもしれない。その場合は 12,000 円前後まで押し目があるかもしれない。しかし 1.6 兆円の記録的な「信用売り残高」は相場を支える大きな力である。また為替は当面 108 円 ~ 112 円のボックス相場と見ている。基本は 102 円、123 円である。年内 115 円と見る。

さて個別銘柄に移ろう。6 月の「コラム」から取上げたソフトバンク (9984) は 3,690 円、4,450 円、4,830 円、5,210 円 (5,580 円 8/18)、5,970 円が「黄金分割」であるが、綺麗な上昇波動を実現した。ヤフー (4689) は 9 月末 1 : 2 の分割 (12 回目) を発表した。20.8 万円、25 万円 (26.9 万円 8/18)、27.2 万円、29.4 万円。楽天 (4755) は 7.02 万円、8.5 万円、9.2 万円 (達成)、8.1 万円、7.5 万円 (7.66 万円 8/8)

9.3 万円 (9.28 万円 8/19)、10.1 万円、10.9 万円と 7 万円台でダブル底を形成しており、今後の更なる展開が期待できる。ワコム (6727) は 60.6 万円 (8/8) の最安値まで 1/28 の高値 93.4 万円から半年以上も下げ続けた。第一波動は 73.1 万円、そして 79.3 万円、

85.6 万円となる。フィールズ (2767) は 36.4 万円、43.9 万円 (45.5 万円 7/8)、39.7 万円、36.8 万円 (37.4 万円 8/5)、45.1 万円、49 万円、52.8 万円となる。36 ~ 37 万円台でダブル底を形成している。野村 (8604) は 1,304 円、1,570 円が第一波動。

これを抜かないと相場にならない。ソニー (6758) は最高値 4,420 円 (4/1)、3,860 円

3,580 円 (昨年 8/20 3,550 円) 最安値を見るが、3,660 円安値 (8/19) と見るならば 4,420 円であり、最高値に一致している。出遅れた投資家は「腐っても鯛」と見るならば、時間が掛かるが「逆張り」でどうか。NEC (6701) も良く似ている。松井 (8628) は 1000 円 (8/2)、1,210 円 (1,252 円 8/16)、1,090 円 (1,143 円 8/19) 押目確認後、1,310 円、1,420 円と見る。日本オラクル (4716) は 4,070 円 (7/1)、4,910 円、5,330 円 (5,170 円 8/5)、5,750 円であるが、TOPIX「浮動株基準」の移行等の影響で長期間売られ続けたが、大底はついた様だ。業績も回復し、利回り 2.9% は魅力だ。(「黄金比率」は 7,603 円 \times 1.618 = 12,302 円、+ 21%、+ 31%、+ 42%、+ 62%)

投資判断は自己責任でお願いします。